

専門教育科目	演習科目	受講料	2,000円		
科目名:	実務家が教える中小企業経営		科目コード	FR41	
科目主査:	大蔵 充夫	担当講師:	大蔵 充夫	単位	2
				配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク:	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク:	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
<p>第一線で活躍する経営コンサルタントが、基本を確認しながら、業績を上げる実践手法を長年の実体験に基づき公開する講義です。授業では、経営コンサルタントの業務とは何か、今、経営コンサルタントに何が求められているのかについて解説します。また、将来、経営コンサルタントを目指す方への指針も提示します。</p>					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:			
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>事前にテキストを熟読し、働き方改革について、A4用紙で2枚程度にまとめて、スクーリング当日に提出してください（成績評価には含みません）。</p>				
テキスト	<p>『職場の問題地図』、沢渡 あまね、技術評論社、2016年 *上記の図書は事前課題用に受講許可者に送付します（スクーリング当日は使用しません）。</p>				
この科目の到達目標	<p>①中小企業の現状と経営コンサルタントの役割を理解することができる。 ②中小企業の財務管理、マーケティング、経営戦略、事業計画等に関する経営課題を提示することができる。</p>				
成績評価の方法	<p>最終試験は部分記述問題を1問6点として10問、論述問題を1問20点で1問出題します。チームワークへの参画度合い、授業に取り組む姿勢を加味して評価を行います。休憩時間後の遅刻は減点の対象にします。</p>				
事後学習	<p>授業で触れなかった経営組織のデザイン、IoT、CSR環境経営などを強化すること。</p>				
事後学習の参考文献	<p>『中小企業白書』中小企業庁（最新版） 『小規模事業者白書』中小企業庁（最新版） 『世界標準の経営理論』入山 章栄、ダイヤモンド社、2019年</p>				
スクーリング受講時に用意するもの					
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証					